

319 3年のふくしゅう

31901 ◇第1時の授業 p100

- (1)・100ページを開きます。
- (2)・「3年のふくしゅう」をやります。
- ・△マークは、何番までありますか(20番)。
 - ・今日は△4までと△10をやります。
 - ・次の時間は△5から△12まで。その次の時間は最後までやります。
- (3)・Aさん、△1を読んで下さい(読む)。
- ・数直線の問題です。
 - ・一番大事なことは、「1番小さい1目盛の大きさ」が分かることでした。
 - ・①の数直線を見ます。書いてある数を、左から読みます(読む)。
 - ・2万と3万の間を見ます。2万から3万まで、いくつですか(10000)。
 - ・1万の間には、10の目盛があります。
 - ・「10目盛で1万。1目盛はいくつですか」(1000)。1目盛分に青塗り。
 - ・数直線の左脇に「1000カード」を書きます。
 - ・この数直線は、「1目盛1000カードの数直線」です(同同同)。
 - ・2万から3万まで、1目盛ずつ読みます(20000, 21000, ..., 29000, 30000)。
 - ・アイウの答えを、記号の脇に書きます(ア25000, イ34000, ウ48000)。
- (4)・②の数直線を見ます。書いてある数を、左から読みます(読む)。
- ・38万と39万の間を見ます。
 - ・38万から39万まで、いくつですか(10000)。
 - ・1万の間には、目盛があります。目盛は、間の数を数えます(2)。
 - ・「2目盛で1万。1目盛はいくつですか」(5000)。1目盛分に青塗り。
 - ・数直線の左脇に「5000」を書きます。
 - ・この数直線は、「1目盛5000の数直線」です(同同同)。
 - ・38万から39万まで読みます(380000, 385000, 390000)。エを書きます。
 - ・少し読みづらいですね。全部の「0000」を丸囲みします。
 - ・「38, 39, □, 41」となりました。「39」と「41」の間はいくつですか(40)。
 - ・目盛に「40」と書いて、「0000」を付け足します。オは何と読むか(40万)。
- (5)・③の数直線を見ます。書いてある数を、左から読みます(読む)。
- ・6000万と7000万の間を見ます。
 - ・6000万から7000万まで、いくつですか(1000万)。
 - ・1000万の間には、目盛があります。目盛は、間の数を数えます(2)。
 - ・「2目盛で1000万。1目盛はいくつですか」(500万)。1目盛分に青塗り。
 - ・数直線の左脇に「500万」を書きます。
 - ・この数直線は、「1目盛500万の数直線」です(同同同)。
 - ・6000万から7000万まで読みます(6000万, 6500万, 7000万)。
 - ・カの脇に数を書きます(7500万)。
 - ・続けて、数直線を読みます(8000万, 8500万, 9000万, 9500万)。
 - ・その次は何ですか(1億)。漢字を使って書きます。
- ※△2△3△4△10をプリント化して配布
※習熟システム
- (6)・△2をやります。全部解いたら先生チェック。
- ※習熟システム
- (7)・△3をやります。全部解いたら先生チェック。
- ※習熟システム
- (8)・△4をやります。全部解いたら先生チェック。
- ※習熟システム
- (9)・△10をやります。全部解いたら先生チェック。
- ※習熟システム

|(10)・終わった人はスキル45～48番を自分のペースでやります。|

★ポイント(31901)

(1)数直線を読むときは、まず「1目盛分」を表す大きさに注目する。

○「1目盛 a カード用の数直線」であることを、脇に示す。

○基本単位ではないときは、「カード」はつけない。

- ・1目盛1000カードの数直線
- ・1目盛5000の数直線
- ・1目盛500万の数直線

《Q & A》

(発問1)数直線の始めの「0」の次は、いくつですか。(10000)

(発問2)10目盛で10000。1目盛はいくつですか。(1000)

(指 示)脇に「1000」と書いて、青□囲みをします。

(発問3)この数直線の名前は、何ですか。(1目盛1000カードの数直線)

(発問4)矢印ウは、何万と何万の間にありますか。(2万と3万の間)

(指 示)2万の目盛から、順に読みます。(2万, 2万1000)

(発問5)矢印ウは、いくつですか。(21000)

- (1) ・ 100ページを開きます。
- (2) ・ $\triangle 5$ を追い読みをします。 ※追い読み→1人読み
- ・ 脇の絵を見ます。1箱に、何このりんごを入れますか(6こ)。
 - ・ 問題文の「1箱に6こ」を青囲み。挿絵にも「1箱に6こ」と書きます。
 - ・ 1箱に対して、何箱あるのですか(□箱)。問題文に赤囲み。
 - ・ りんごは、全部で何こありますか(40こ)。問題文に黒囲み。
 - ・ 聞かれていることは何ですか(全部入れるには箱は何箱～)。下線。
- (3) ※「1つ分の数×いくつ分＝全部の数」を掲示
- ・ 「1つ分の数」は、いくつですか(6)。
 - ・ 「いくつ分」は、いくつですか(□)。
 - ・ 「全部の数」は、いくつですか(40)。
 - ・ 「 $6 \times \square = 40$ 」になりました。何算をしますか(わり算)。
 - ・ 式は(40÷6)。「40÷6」を脇に書いて、計算します(6あまり4)。
 - ・ 聞かれていることは「箱は何箱あればよいでしょうか」です。
 - ・ あまりの数は聞いていません。答えは何ですか(7箱)。
 - ・ なぜですか(あまった4こを入れるには、箱がもう1箱必要だから)。
- (4) ・ Bさん、 $\triangle 6$ を読んで下さい(読む)。
- ・ 赤のテープの長さは、何cmですか(8cm)。問題文に黒囲み。
 - ・ 青のテープの長さは、何cmですか(24cm)。問題文に黒囲み。
 - ・ Cさん、①を読んで下さい(読む)。
 - ・ 右側の赤白テープを見ます。「赤のテープの4倍」と書いてあります。
 - ・ 赤テープの脇に、「 $\times 4$ 」と赤で書きます。
 - ・ 赤テープの4倍と白テープは、同じ長さなのですね。
 - ・ 「曲がり＝」をかきます。
 - ・ 説明します。
 - ・ 「8cmを4倍すると」(同)「上の段の□cmと同じ長さになります」(同)
 - ・ 「 8×4 は、□と同じ長さです」(同)「式は $8 \times 4 = \square$ 」(同)
 - ・ 「答えは、32cmです」(同)。①の脇に書きます(32cm)。
- (5) ・ Dさん、②を読んで下さい(読む)。
- ・ 右側の赤青テープを見ます。
 - ・ 「赤のテープの長さの何倍」と書いてあります。
 - ・ 赤テープの脇に、「 $\times \square$ 」と赤で書きます。
 - ・ 赤テープを□倍した長さが、青テープの長さと同じなのですね。
 - ・ 「曲がり＝」をかきます。
 - ・ 説明します。
 - ・ 「8cmを□倍すると」(同)「上の段の24cmと同じ長さになります」(同)
 - ・ 「 $8 \times \square$ は、24と同じ長さです」(同)「式は $8 \times \square = 24$ 」(同)。
 - ・ テープ図の脇に「 $8 \times \square = 24$ 」と書きます。3段戦法で解きます。
 - ・ 答えを、②の脇に書きます(3倍)。
- (6) ・ Aさん、③を読んで下さい(読む)。
- ・ 右側の黄青テープを見ます。
 - ・ 「黄のテープの長さの6倍」と書いてあります。
 - ・ 黄テープの脇に、「 $\times 6$ 」と赤で書きます。
 - ・ 黄テープを6倍した長さが、青テープの長さと同じなのですね。
 - ・ 「曲がり＝」をかきます。
 - ・ 説明します。
 - ・ 「□cmを6倍すると」(同)「上の段の24cmと同じ長さになります」(同)

- 「 $\square \times 6$ は、24と同じ長さです」(同)「式は $\square \times 6 = 24$ 」(同)。
- ・テープ図の脇に「 $\square \times 6 = 24$ 」と書きます。3段戦法で解きます。答えを、③の脇に書きます(4cm)。
- (7)・Bさん、 $\triangle 7$ と①を読んで下さい(読む)。
「1」と「0.1」をカードにします。もう一度読みます。
「1カードを3こと、0.1カードを7こあわせた数は□です」。
 - ・答えを赤四角に書きます(3.7)。
 - ・一の位が3、小数第一位が7なので、答えは3.7ですね。
 - ・Bさん、②を読んで下さい(読む)。 ※板書 1.2のさくらんぼ図
 - ・「1.2L」の中に「0.1Lカード」が何こあるかという問題です。
 - ・もとにする大きさ「0.1L」をカードにします。
 - ・「1.2」を位ごとに分けます(1と0.2)。
 - ・「1」は、「0.1カード」何こ分ですか(10こ分)。「1」の下に「10こ」。
 - ・「0.2」は、「0.1カード」何こ分ですか(2こ分)。「0.2」の下に「2こ」。
 - ・あわせて何こ分ですか。赤四角に書きます(12こ分)。赤四角に書く。
 - ・Cさん、③を読んで下さい(読む)。「1/8m」をカードにします。
 - ・もとにする大きさは、「1/8mカード」になりました。
 - ・「5/8m」は、「1/8mカード」の何こ分ですか。赤四角に書きます(5)。
 - ・Dさん、④を読んで下さい(読む)。「1/4」をカードにします。
 - ・もとにする大きさは、「1/4カード」になりました。
 - ・「1/4カード」の7こ分はいくつですか。赤四角に書きます(7/4)。

(8)・Dさん、 $\triangle 8$ を読んで下さい(読む)。

 - ・2年生では、「もとにする長さ」を6等分すると、「1/6」と言いました。
 - ・3年生では、「もとにする長さ」を1mとしました。
 - ・そして、1mの「1/6」の長さを「1/6m」と言いました。
 - ・なので、「5/6」と「5/6m」は違います。
 - ・アとイの最初の1目盛分を、青塗りします。
 - ・「5/6m」の方は、アとイのどちらですかという問題です。
 - ・「算数の目」の赤四角に、1mの「1」を書きます。
 - ・右手で、右半分を隠します。
 - ・1mを6等分しているのは、アとイのどちらですか(イ)。
 - ・イのテープ図を見ます。1目盛分は「1/6m」ですね。
 - ・脇に「1/6カード」を書きます。赤い所は、1mを6つに分けた5つ分です。
 - ・なので、「5/6m」です。イが正解でした。
 - ・アのテープ図を見ます。1mを何等分していますか(3等分)。
 - ・なので、1目盛分は「1/3m」ですね。脇に「1/3カード」を書きます。
 - ・赤い所は、1mを3つに分けた5つ分です。なので、アは「5/3m」でした。

(9)・Aさん、 $\triangle 9$ を読んで下さい(読む)。

 - ・等号とは「=」のこと、不等号とは「><」のことでした。
 - ・まず②をやります。「0」と「0.1」、どちらが大きいですか(0.1)。
 - ・なぜですか(数直線で、0.1の方が右側だから)。
 - ・赤四角に記号を書いて説明します(0は、0.1より小さい)。
 - ・次に①を見ます。「0.8」は小数、「7/10」は分数です。
 - ・数の種類が違うのですぐには答えられません。
 - ・どうしますか(同じ種類の数に揃える)。
 - ・「7/10」を小数にします。「7/10」の下に書きます(0.7)。
 - ・赤四角に記号を書いて説明します(0.8は、7/10より大きい)。

※③④同様

(10)・先に $\triangle 12$ をやります。Bさん、 $\triangle 12$ を読んで下さい(読む)。

 - ・コンパスという道具の役目は、「円をかく」ことの他に何がありますか

- (長さを写しとって、長さを比べる)。
- ・アの赤い線と、イの青い線があります。どちらも曲がっています。どちらの方が長いですか、という問題です。
 - ・赤い線も青い線も、端っこと曲がり角に黒ポツを打ちます(作業)。
 - ・まず赤い線を写し取ります。このように(ICT)、黒ポツから黒ポツまでコンパスを開きます。そして黒の直線に写し取ります。
 - ・赤い線を写し取るので、赤ポツでかいていきます(作業)。
 - ・同じようにして、青い線を写し取ります。青ポツでかきます(作業)。
 - ・どちらの線が長いですか(アの赤い線)。アの記号に丸囲み。
- (11) ・ Cさん、△11を読んで下さい(読む)。問題は4問あります。
- ・①と②は、円をかくのです。
 - ・①は、コンパスを何cmに開きますか(3cm)。
 - ・②は、コンパスを何cmに開きますか(5cm)。
 - ・なぜですか(半径は、直径の半分だから)。
 - ・③は正三角形をかきます。1つ目の辺は6cm、2つ目の辺は(6cm)。
 - ・3つ目の辺は(6cm)。
 - ・なぜですか(正三角形は、3つの辺が等しい三角形だから)。
 - ・④は二等辺三角形をかきます。
 - ・二等辺三角形とはどんな三角形ですか(2つの辺の長さが等しい三角形)。
 - ・2つの辺の長さは何cmですか(4cm)。囲みます。
 - ・ということは、何cmからかき始めますか(5cm)。
 - ・1つできるごとに先生チェック。
- (12) ・ 全部合格した人はスキルチェック。自分のペースでやります。

★ポイント(31902)

(1)「あまりを考える問題」では、何を聞かれているかに注目して答える。

○「あまり」も「1つ」と数える場合

— 《おしゃべり》 —

- (1) 式の答えは6箱あまり4こですが、
(2) あまった4このりんごを入れるには、箱がもう1箱必要です。
(3) なので、答えは7箱です。

(2) テープ図を分析する。

○下段が、「もとにする大きさ」…青囲み

○上段が、比べられる大きさ…黒囲み

○「もとにする大きさ」のいくつ分…赤で「 $\times 4$ 」

○下段の4倍の長さと上段の長さは同じ…「曲がり＝」

・なので、「8cmの4倍は、□cmと同じ長さ」

・式にすると、「 $8 \times 4 = \square$ 」

○テープ図を説明する。

— 《おしゃべり》 —

- (1) 下の段が「もとにする大きさ」の8cmです。
(2) 8cmを4倍すると、上の段の□cmと同じ長さになります。
(3) 「 8×4 」は、「□」と同じ長さです。
(4) なので式は、 $8 \times 4 = \square$ です。

(3) 基準単位の「0.1」を青□囲みをして、「0.1カード」とする。

○「0.1カード」がいくつ分あるかで、小数を表現する。

(4) 基準単位の「 $1/4$ 」を青□囲みをして、「 $1/4$ カード」とする。

○「 $1/4$ カード」がいくつ分あるかで、分数を表現する。

(5) 全体が1mではないテープ図の長さを、分数で言うことができる。

○1目盛分の長さを調べる。「1m」を何等分しているかを調べる。

・「全体」の何等分ではなく、「1m」の何等分で決める。

○「1」より大きい分数も、「いくつ分」をみて分数にする。

仮分数の場合は1mだけを見る

必要以外の数直線は掌で隠す

— 《おしゃべり》 —

- (1) このテープ図は、「1m」を3等分しています。
(2) 1目盛は、1mを3等分した1こ分なので、「 $1/3m$ 」です。
(3) なので、このテープ図は「 $1/3m$ のテープ図」です。
(4) $1/3m$ の5こ分なので、答えは $5/3m$ です。

(6) コンパスを使うと、長さを写し取ることができることを知る。

○ものさしの長所→詳しい長さを調べることができる。

○コンパスの長所→どちらが長い、長さを比べるときにすぐに分かる。

- (1) ・ 102ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2) ・ $\triangle 13$ に、3つの図形があります。それを見ながら追い読みします。
 「二等辺三角形は」(同)「2つの辺の長さが等しい三角形です」(同)
 「正三角形は」(同)「3つの辺の長さが等しい三角形です」(同)
 「円は」(同)「1つの点から」(同)「長さが等しくなるようにかいた」(同)
 「丸い形です」(同)。 ※追い読み
- (3) ・ Aさん、①を読んで下さい(読む)。問題は3問あります。
 ・ アは、何cmですか。脇に書きます(7cm)。
 ・ なぜですか(二等辺三角形は、2つの辺の長さが等しいから)。
 ・ イは、何cmですか。脇に書きます(10cm)。
 ・ なぜですか(正三角形は、3つの辺の長さが等しいから)。
 ・ ウは、何cmですか。脇に書きます(6cm)。
 ・ なぜですか(半径は、直径の半分だから)。
- (4) ・ Bさん、②を読んで下さい(読む)。
 ・ カの角を指さします(さす)。このように(ICT)角を赤でぬります。
 ・ この角と同じ角は、どれですか(ク)。②の脇に書きます。
 ・ なぜですか(二等辺三角形では、2つの角の大きさが等しいから)。
 ・ 赤で、クの角をぬります(作業)。
 ・ 問題にはありませんが、正三角形の同じ角はどこですか(全部)。
 ・ なぜですか(正三角形では、3つの角の大きさが等しいから)。
 ・ 青で、3つの角をぬります(作業)。
- (5) ・ Cさん、 $\triangle 14$ を読んで下さい(読む)。問題は3問あります。
 ・ Cさん、①を読んで下さい(読む)。答えを脇に書きます(12こ)。
 ・ Cさん、②を読んで下さい(読む)。
 ・ 箱の縦を見ます。何cmですか(24cm)。ボール何こで24cmですか(4こ)。
 ※ボールの中心に縦線
 ・ ボール4こで24cm。ボール1こで何cmですか(6cm)。脇に書きます。
 ※ボール1つ分に赤なぞり
 ※ボールの中心に横線
 ・ Cさん、③を読んで下さい(読む)。
 ・ ボール1こで6cm。ボール3こ分で何cmですか(18cm)。脇に書きます。
- (6) ・ Dさん、 $\triangle 15$ を読んで下さい(読む)。
 ・ ①の赤四角に数を入れます(60)。
 ・ 1分は、60秒と同じ長さです。「1分=60秒」を見ながら言います。
 「1分は、60秒と同じ長さです」(同同同)。
 ・ このような言い方もあります。
 「1秒を60こ集めると1分です」(同)「1分を60に分けると1秒です」(同)。
 ・ ②の赤四角に数を入れます(1000)。
 ・ なぜ、すぐに「1000m」とわかりましたか(kは「1000」を表すから)。
 ・ 「k」を赤囲み。その上に「1000」と書きます。
 これを覚えておけば、丸暗記することはありません。
 ・ ③の赤四角に数を入れます(1000)。
 ・ なぜ、すぐに「1000g」とわかりましたか(kは「1000」を表すから)。
 ・ 「k」を赤囲み。その上に「1000」と書きます。
 ・ ②を見ながら言います。「1kmは、1000mと同じ長さです」(同同同)。
 ・ ③を見ながら言います。「1kgは、1000gと同じ重さです」(同同同)。
- (7) ・ ④。「1680m」を「km」と「m」に分けて表す問題です。
 ・ 最初にする何ですか(1680mのさくらんぼを書く)。

- ・千の位とそれ以外に分けます(1000mと680m)。
 - ・「1000m」は、何kmと同じ長さですか(1km)。
下線をして、その下に「1km」と書きます。
 - ・答えが出ました。赤四角に書きます(1km680m)。
 - ・みんなで説明します。「1680mは、1km680mと同じ長さです」(同同同)。
- (8) ・ ⑤。「1km27m」を、「m」だけで表す問題です。
- ・最初にすることは何ですか(1kmを1000mに直す)。
 - ・「1km」に下線。「1000m」と書きます。
 - ・次にすることは何ですか(1000mと27mをあわせる)。バナナ囲みします。
 - ・赤四角に書きます(1027m)。
 - ・みんなで説明します。「1km27mは、1027mと同じ長さです」(同同同)。
- ※⑥も同様
- (9) ・ Aさん、△16を読んで下さい(読む)。
- ・①。赤い針のさしている所を読みます。
 - ・赤い針は、何百gと何百gの間にありますか(700gと800gの間)。
 - ・言うことは、答えは七百何十gと言うことです。脇に書く(720g)。
 - ・②。赤い針のさしている所を読みます。
 - ・赤い針は、800gとここ(ICT)何百gの間にありますか(900g)。
 - ・言うことは、答えは八百何十gと言うことです。
 - ・800gと900gのちょうど真ん中をさしています。脇に書く(850g)。
- (10) ・ Bさん、△17を読んで下さい(読む)。
- ・家を出たのは、何時何分ですか(7時30分)。問題文に丸囲み。
 - ・家から駅まで、何分かかりますか(40分)。問題文に丸囲み。
脇に「40分のさくらんぼ図」を書きます。
 - ・「7時30分」は、あと少しで何時になりますか(8時)。時計盤に「8時」。
 - ・「7時30分」から「8時」まで何分ですか(30分)。
 - ・「40分のさくらんぼ図」で、30分と残りに分けます(30分と10分)。
 - ・説明します。
「7時30分から30分で8時」(同)。さくらんぼ図の「30分」の下に「8時」。
「8時から10分で8時10分」(同)「答えは8時10分です」(同)。
 - ・答えを脇に書きます(8時10分)。
- (11) ・ Cさん、△18と①を読んで下さい(読む)。問題は、2問あります。
問題文の「きより」と「道のり」を丸囲みします。
- ・「きより」とは何ですか(まっすぐに測った長さ)。みんなで(同)。
 - ・「道のり」とは何ですか(道に沿って測った長さ)。みんなで(同)。
 - ・1問目は、「きより」を聞いています。
ということは何色の線ですか(赤色)。まっすぐの線だからですね。
 - ・答えは「1km200m」と書いてあります。でも、「何mですか」と聞いてます。
これを「m」に直して、脇に書きます(1200m)。
 - ・2問目は、「道のり」を聞いています。
ということは何色の線ですか(青色)。道に沿っているからですね。
 - ・答えは「720m」と「570m」をたしたものです。いくつですか(1290m)。
 - ・でも、「何km何mですか」と聞いてます。
これを「km」と「m」に直して、脇に書きます(1km290m)。
- (12) ・ Cさん、②を読んで下さい(読む)。
- ・ちがいを求めるには、何算をしますか(ひき算)。
 - ・計算して、答えを脇に書きます(1290－1200 答え90m)。
- (13) ・ Dさん、△19を読んで下さい(読む)。
- ※言葉の式掲示
- ・右側の絵を見ます。
 - ・男の子がテニスボールを持っています。

- ・テニスボール「1こ分の数」は何gですか(58g)。問題文に青囲み。
 - ・テニスボールは、「何こ分」ありますか(45こ分)。問題文に赤囲み。
 - ・テニスボール「全部の数」を出す式は何ですか(58×45)。絵の脇に書く。
 - ・計算すると、2610gです。「 58×45 」の下に書きます(2610g)。
 - ・それを600gのかごに入れています。脇の挿絵に書きます(600g)。
 - ・「テニスボール」と「かご」の全体の重さを聞いています。
 - ・何算ですか(たし算)。計算します($2610 + 600 = 3210$)。
 - ・答えは「3210g」ですね。
 - ・でも、聞かれていることは「何kg何gですか」です。
 - ・「kg」と「g」に直して、脇に書きます(3kg210g)。
- (14) ・ Aさん、△20を読んで下さい(読む)。
- ・下の表を見ます。表題は何ですか(図書室の本を読んだ人数3年生)。
 - ・3年生は、全部で何組までありますか(4組)。
 - ・1組は、何人本を読んでいますか(22人)。2組は(19人)。3組は(15人)。
 - ・4組は(25人)。3年生の合計は(81人)。
- (15) ・ となりのグラフを見ます。一番上の長い赤四角には何を書きますか(表題)。はみ出さずに書きます。
- ・グラフの下、横軸を見ます。縦の赤四角が4つあります。
 - ・何を入れますか(組)。書きます。
 - ・グラフの縦軸を見ます。小さい赤四角には、目盛を入れます。
 - ・単位は何ですか(人)。表題の横の赤四角に「人」と書きます。
 - ・一番下の、赤四角は何を書きますか(0)。書きます。
 - ・1目盛が「1人」だと、「5, 10, 15」。最高15人の棒グラフができます。
 - ・それでいいですか(ダメ。15人を越えるクラスがあるから)。
 - ・「1目盛1人」は、ダメですね。
 - ・「1目盛2人」にしてみます。0から目盛を読むと「0, 2, 4, 6, 8, 10」。
 - ・次の赤四角は「10」。次は「20」、次は「30」。
 - ・これで、全部のクラスが入りますか(入る)。
 - ・「1目盛が2人」の目盛を書きます。
 - ・次は棒を書きます。1組は22人。「1目盛2人」に気をつけてかきます。
 - ・全部かいたら先生チェック。
- (16) ・ 終わった人はスキルチェック。自分のペースでやります。

★ポイント(31903)

- (1) 「二等辺三角形」「正三角形」「円」の定義を理解する。
- 二等辺三角形…2本の辺の長さが同じ。2つの角の大きさが同じ。
 - 正三角形…3本の辺の長さが同じ。3つの角の大きさが同じ。
 - 円…「直径」の半分の長さが「半径」。

- (2) 重さや長さの単位換算ができる。
- 2単位→1単位の場合を説明する。 ※バナナ囲み方式

— 《おしゃべり》 —

- (1) 「3kg50g」を「g」だけに直します。
- (2) 3kgは、3000gです。
- (3) 3000gと50gで、答えは3050gです。

- 1単位→2単位の場合を説明する。 ※さくらんぼ方式

— 《おしゃべり》 —

- (1)「1600g」を「kg」と「g」に直します。
- (2)1600gを1000gと600gに分けます。
- (3)「1000g」は「1kg」と同じ重さです。
- (4)答えは、1kg600gです。

- (3)「後時刻」の求め方を、「時計の数直線」を使って解くことを知る。
 ○「時計の数直線」の基本図。「ちょうどの時刻」を、真ん中にする。
 ○時計を見て、説明する。

— 《おしゃべり》 —

- (1)(:)から(時)まで()分。
- (2)(時)から(:)まで()分。
- (3)あわせて()分。
- (4)()は(:)です。

(7:30から8時まで30分。8時から8:10まで10分。あわせて40分。
 着いた時刻は、8:10です)。

- (4)「きょり」と「道のり」の違いが分かる。
 ○「きょり」…まっすぐにはかった長さ
 ○「道のり」…道に沿ってはかった長さ

- (5)棒グラフのかき方を知る。

《手 順》

- 横軸…多い項目の順に並べる。
目盛の間に項目を書く。
「その他」は最後に並べる。
- 縦軸…最も多い項目のデータが入るように1目盛の大きさを決定する。単位を書く。
- ぼう…(1)横ラインをかく。
(2)両側の縦ラインをかく。
(3)ぼうに色をぬる。
*棒と棒の間を空ける。
- 表題… *先に書いてもよい。